

■ あなたの近くで災害が発生した場合はご連絡ください
 津久見市役所 総務課 ☎0972-82-4111代表 ☎0972-82-4115 総務課直通
※大雨・洪水・暴風等の警報が発令されると災害対策本部連絡室を設置します。

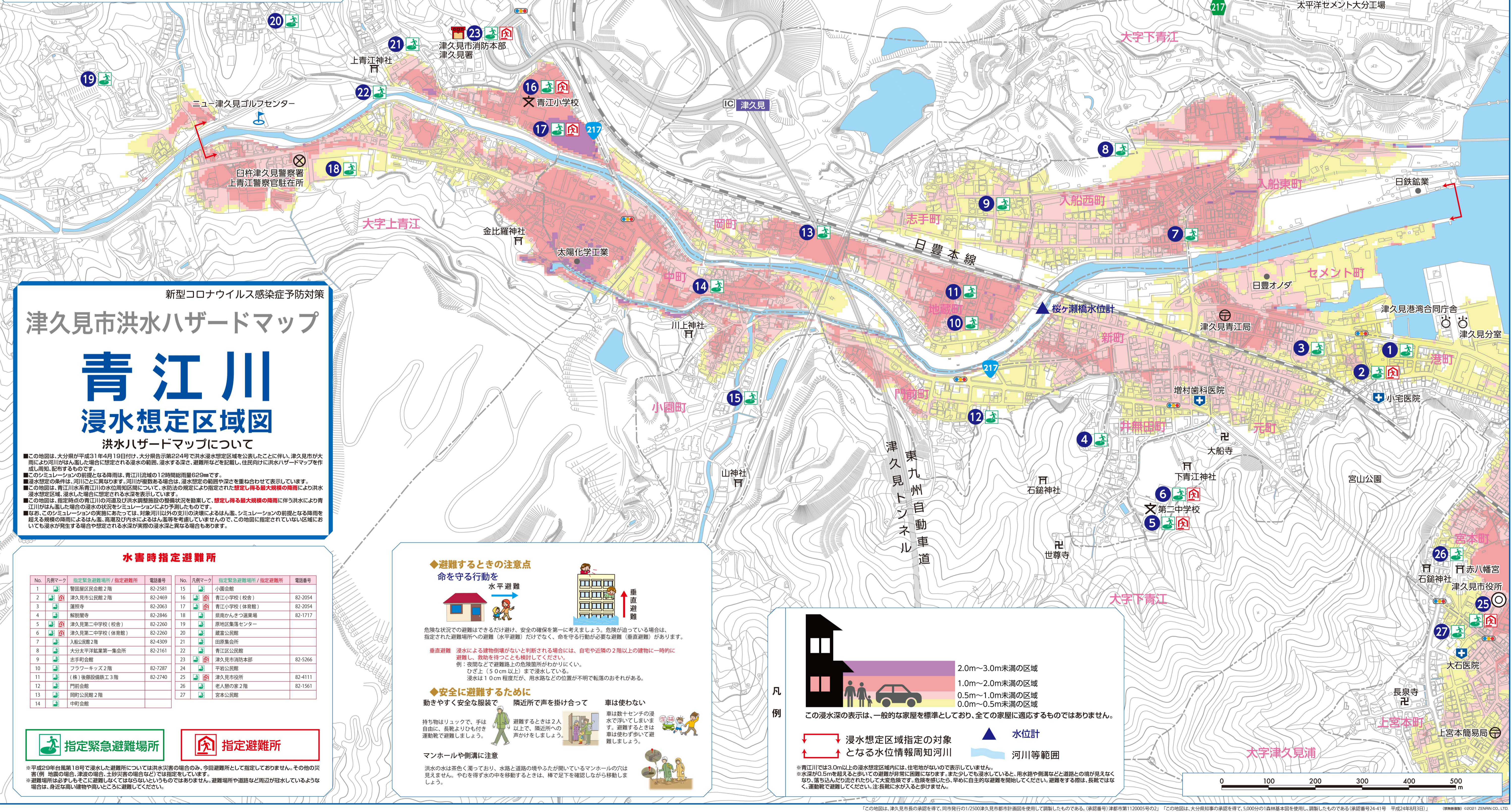
国道・県道・市道の冠水、河川の決壊及びげ崩れ等の場合	津久見市役所 土木管理課	☎0972-82-4116
農道・林道の崩壊、山崩れ及び用水路の決壊等の場合	津久見市役所 農林水産課	☎0972-82-9514(農林) ☎0972-82-9522(水産)
下水道関係(マンホールのふたや水道管の破裂)の場合	津久見市役所 上下水道課	☎0972-82-9516(下水道) ☎0972-82-9517(上水道)

警 察 【緊急の場合は110】 携帯電話からは、局番なしの110	白杵津久見警察署	☎0972-62-2131
	津久見幹部交番	☎0972-82-2131
	上青江警察官駐在所	☎0972-82-8857

消 防 署 【緊急の場合は119】 携帯電話からは、局番なしの119	津久見市消防署	☎0972-82-5211
------------------------------------	---------	---------------

休日・夜間当番医テレホンサービス ☎0972-82-3000
 防災行政無線の電話応答サービス ☎0972-82-0228・0972-82-0229

大分県 <https://www.pref.oita.jp/> 津久見市 <https://www.city.tsukumi.oita.jp/>



新型コロナウイルス感染症予防対策

津久見市洪水ハザードマップ

青江川 浸水想定区域図

洪水ハザードマップについて

■この地図は、大分県が平成31年4月19日付け、大分県告示第224号で洪水浸水想定区域を公表したことに伴い、津久見市が大分県により河川がはん濫した場合に想定される浸水の範囲、浸水する高さ、避難所などを記載し、住民向けに洪水ハザードマップを作成し周知、配布するものです。

■このシミュレーションの前提となる降雨は、青江川流域の12時間総降雨量299mmです。

■浸水想定条件は、河川ごとに異なります。河川が複数ある場合は、浸水想定範囲や深さを重ね合わせて表示しています。

■この地図は、青江川水系青江川の水位周知区域について、水防法の規定により指定された**想定し得る最大規模の降雨**により洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示しています。

■この地図は、指定地点の青江川の河況及び洪水調節施設の状態を勘案して、**想定し得る最大規模の降雨**に伴う洪水により青江川がはん濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

■なお、このシミュレーションの実施にあたっては、対象河川以外の支川の決壊によるはん濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨によるはん濫、高潮及び内水によるはん濫等を考慮していませんので、この地図に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合もあります。

水害時指定避難所

No.	凡例マーク	指定緊急避難場所/指定避難所	電話番号	No.	凡例マーク	指定緊急避難場所/指定避難所	電話番号
1	緑	寶徳地区民会館2階	82-2581	15	赤	小園会館	
2	赤	津久見市民館2階	82-2469	16	赤	青江小学校(校舎)	82-2054
3	赤	護国寺	82-2063	17	赤	青江小学校(体育館)	82-2054
4	赤	新報館	82-2846	18	赤	南側かんづき温泉	82-1717
5	赤	津久見第二中学校(校舎)	82-2260	19	赤	原地区集落センター	
6	赤	津久見第二中学校(体育館)	82-2260	20	赤	蔵堂公民館	
7	赤	大船公園2階	82-4309	21	赤	田原集会所	
8	赤	大分太平洋製菓第一集会所	82-2161	22	赤	津江公民館	
9	赤	志手町会館		23	赤	津久見市消防本部	82-5266
10	赤	フラワーキッズ2階	82-7287	24	赤	平野公民館	
11	赤	(株)徳勝設備機工3階	82-2740	25	赤	津久見市役所	82-4111
12	赤	門前会館		26	赤	老人の家2階	82-1561
13	赤	岡公民館2階		27	赤	宮本公民館	
14	赤	中町会館					

◆避難するときの注意点

命を守る行動を

水平避難 **垂直避難**

危険な状況での避難はできるだけ避け、安全の確保を第一に考えましょう。危険が迫っている場合は、指定された避難場所への避難(水平避難)だけでなく、命を守る行動が必要な避難(垂直避難)があります。

垂直避難 浸水による建物倒壊がないと判断される場合には、自宅や近隣の2階以上の建物に一時的に避難し、救助を待つことも検討してください。
 例：夜間などで避難路上の危険箇所がわかりにくい。
 ひざ上(50cm以上)まで浸水している。
 浸水は10cm程度だが、用水路などの位置が不明で転落のおそれがある。

◆安全に避難するために

動きやすく安全な服装で 隣近所で声を掛け合って 車は使わない

持ち物はリュックで、手は自由、長靴よりひも付き運動靴で避難しましょう。

避難するときは2人以上で、隣近所への声かけをしましょう。

車は数十センチの浸水で浮いてしまいます。避難するときは車は使わず歩いて避難しましょう。

マンホールや側溝に注意

洪水の水は茶色く濁っており、水路と道路の境やたがわいていないマンホールの穴は見えませんが、やむを得ず水の中を移動するときは、棒で足下を確認しながら移動しましょう。

凡例

この浸水深の表示は、一般的な家屋を標準としており、全ての家屋に適応するものではありません。

- 2.0m~3.0m未満の区域
- 1.0m~2.0m未満の区域
- 0.5m~1.0m未満の区域
- 0.0m~0.5m未満の区域

浸水想定区域指定の対象となる水位情報周知河川
 水位計
 河川等範囲

※青江川では3.0m以上の浸水想定区域内には、住宅地がないので表示していません。
 ※水深が0.5mを超えると歩道の避難が非常に困難になります。また少しでも浸水しているため、用水路や側溝などと道路との境が見えなくなり、落ち込みたり流れたりして大変危険です。危険を感じたら、早めに自主的な避難を開始してください。避難をする際は、長靴ではなく、運動靴で避難してください。注:長靴に水が入ると歩かせません。

指定緊急避難場所

指定避難所

※平成29年台風第18号で浸水した避難所については洪水災害の場合のみ、今回避難所として指定しておりません。その他の災害(例 地震の場合、津波の場合、土砂災害の場合など)では指定をしています。
 ※避難場所必ずしもそこに避難しなくてはならないというものではありません。避難場所や道路など周辺が冠水しているような場合は、身近な高い建物や高いところに避難してください。